

令和7年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取り組み内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程・学習指導	自立と社会参加をめざして、キャリア教育の推進と学習内容の生活への般化という視点を持ち、教育内容に貫性や継続性を持たせながら、生徒が主体的に取り組める授業作りを行う。	生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズ、将来像を捉え、生徒の生きる力につながる、わかりやすい授業づくりを継続し、組織的なカリキュラムマネジメントを推進する。	①シラバス、年間授業計画について、学習指導要領の内容が反映されているか、実効性があるものなのか検証し、系統性のある学習指導を進める。 ②大型電子黒板の使用方法、授業実践や教材の共有化を図り、一人1台タブレット端末を活用した授業づくりを推進する。	①系統性、継続性を意識したシラバスや年間授業計画を検証し、実効性のある年間授業計画を作成することができたか。 ②生徒が主体的にタブレット端末を活用し、生活の中で役立つ授業を展開することができたか。
2	生徒指導・支援	生徒の実態や課題等を見立てる力(アセスメント力)や問題を解決する力を向上させ、チームとして組織的に生徒理解や生徒指導・支援にあたれるようする。	専門職や他機関と連携して生徒の実態や課題を的確に捉えた個別教育計画を作成するとともに授業や支援に反映し、組織的・継続的な支援・指導の充実を図る。	①専門職や他機関と連携して生徒の実態や課題を捉えた個別教育計画を作成し、個別教育計画の目標を意識した支援・指導を行う。 ②ケース会や支援会議の中で割り振られた役割分担の進捗状況や、評価や改善点を職員間で共有し、継続的な支援をする。	①個別教育計画の目標を意識した支援・指導を行うことができたか。 ②ケース会や支援会議を行い、職員間で情報共有して、継続的な生徒支援・指導を行うことができたか。
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの自己実現をめざし、自ら進路選択や進路決定できるよう、丁寧で分かりやすい指導・支援を行う。	進路指導・支援について専門性の向上につながるマニュアル作成を検討し、生徒が主体的に進路選択や進路決定ができるよう、組織的な指導・支援を行う。	①個別最適な進路選択につながるように、部門とグループが組織的に協力した進路指導を展開する。 ②進路支援について必要な情報を整理したマニュアルの作成のためにアンケートを実施し、課題の抽出を行う。	①授業や面談の中で就労準備性をとらえるアセスメントツールを活用するなど、部門と連携して進路支援ができたか。 ②進路研修会・進路会議や進路指導・支援に活用できる課題整理ができたか。
4	地域等との協働	インクルーシブ教育推進の視点を持ちながら、近隣の学校や地域住民および関係機関との連携協力体制を強化し、地域に開かれた学校作りを推進する。	持続性のある交流を推進し地域との相互理解を図る。支援教育や本校の教育活動に対する地域の理解を深めるとともに、支え合える関係づくりを進め。HPの活用や情報発信の方法や内容を工夫し、地域のセンター的機能の充実を図る。	①様々なイベントやボランティアなど、地域での活動を充実させるとともに、近隣学校児童・生徒と交流する機会を設け、協力関係を構築する。 ②HPの活用方法と情報発信を工夫して、学習活動や学校行事、生徒会活動を紹介し、保護者や地域の方々に情報発信をして本校の理解を進める。	①イベントや交流を通して、本校生徒や地域の取り組みについて相互理解促進を図ることができたか。 ②学校だよりの定期的な発行、HPでの情報発信を効果的に行い、保護者や地域の本校への理解を図ることができたか。
5	学校管理 学校管理	防災や防犯活動に組織的に取組み、生徒にとって安全・安心な学校作りのための危機管理体制作りや防犯・防災教育を推進する。	関係機関と連携し効果的な防災・防犯訓練を実行することで、危機管理意識を育てる。組織的で効率的な業務改善を図り、多様な働き方を尊重した体制づくりを進める。	①継続的・系統的な防災学習を検討し、災害時の安全につながる学習を各学年で実践する。 ②様々な災害リスクに応じた実践的な訓練を行ふことに加え、地域の防災研修や危機管理の情報を収集し、地域と連携した安全管理を進める。 ③働き方に合わせた業務分担を行い、円滑に業務推進できる環境設定をするとともに、業務の平準化を進める。	①継続的・系統的な防災教育を実施できたか。 ②ケースに応じた避難の方法や内容の工夫、実施後の振り返りについて検討し、実施することができたか。 ③職員間で協力し、グループや学年、部門を超えた協力体制をとることができたか。